

「平和を求めよう」

ひとき

一切れのかわいたパンがあって、

へいわ

平和であるのは、

あらそ

み

いえ

ごちそうと争いに満ちた家にまさる。

しんげん

(箴言 17:1)

一切れのかわいた
パンがあって
平和

<預言者エリヤのケース>

かめの粉は尽きず、
つぼの油は
なくならなかった。

Ⅰ 列王17:16

豊かではないが、
何もないわけではない。

パンを争えば不幸
分け合えば平和

<ハニーハンター>

標高2000メートルのヒマラヤ山脈の山岳部に生息し、そこに巨大な巣を作るヒマラヤオオミツバチ。ネパールには古くからハニーハンターと呼ばれる人たちが

断崖絶壁に登り命がけのハチミツ狩りを行なっている。





採取には縄ばしごとロープで崖を下り、竹製のカゴやへらのついた棒を使い、命がけでハチの巣を探る。

約30メートルほど
ある蜂の巣がある
崖の上からロープ
を投げ下ろす。
下のグループは煙
で蜂を燻りだす。
準備が整うと、ハ
ンター達は裸足で
縄はしごを登りは
じめる。







ヒマラヤオオミツバチのハチミツは純度が高く、薬効成分もあり世界中から需要がある。町に持っていけば高く売れる。

しかし、ハニーハンターたちは採取した蜂蜜を村に持ち帰り、村人全員で公平に分けた。

2 ごちそうと争いに満ちた家

「ごちそう」→繁栄の象徴

<繁栄>

人は富や権力や名声を求める。

→それらが幸せを生むと思うから。

しかし、それらを手にいれた人々も
幸福とは限らない。

ある事業に成功した人が、
「財産を何に使う？」と尋ねられ、
「全て、次の大事業の資金にする。」

株式取引で大儲けし続けた人が、

「こんな額では満足できない。」

ではどれくらい欲しいのかと問われ、

「いくらでも欲しい。」

豊かと思わないなら、
貧乏と同じ

財産が増えたと
自分のお金が自由にならなくなる
ということもある。

ざいさん

きしょくしゃ

財産がふえると、寄食者もふえる。

も ぬし

なん えき

持ち主にとって何の益になろう。

かれ

め み

彼はそれを目で見るだけだ。

でんどうしゃ しょ

(伝道者の書 5:11)

財産は不安感を生む

ルカ12：16-20

16 「ある金持ちの畑が豊作であった。

17 そこで彼は、心の中でこう言いながら考えた。『どうしよう。作物をたくわえておく場所がない。』

18 そして言った。『どうしよう。あの倉を取りこわして、もっと大きいのを建て、穀物や財産はみなそこにしまっておこう。

ルカ12：16-20

19 そして、自分のたましいにこう言おう。

「たましいよ。これから先何年分もいっぱい物がためられた。さあ、安心して、食べて、飲んで、楽しめ。」』

20 しかし神は彼に言われた。『愚か者。おまえのたましいは、今夜おまえから取り去られる。そうしたら、おまえが用意した物は、いったいだれのものになるのか。』

財産や地位は人に狙われる

第二列王記 8 章

7 エリシャがダマスコに行ったとき、アラムの王ベン・ハダデは病気であったが、彼に「神の人がここまで来ました」という知らせがあった。

8 王はハザエルに言った。「贈り物を持って行って、神の人を迎え、私のこの病気が直るかどうか、あの人を通して主のみこころを求めてくれ。」

9 そこで、ハザエルはダマスコのあらゆる良い物をらくだ四十頭に載せ、贈り物として携えて、彼を迎えに行った。彼は神の人の前に行って立ち、そして言った。「あなたの子、アラムの王ベン・ハダデが、『この病気は直るであろうか』と言ってあなたのところへ私をよこしました。」

10 エリシヤは彼に言った。「行って、『あなたは必ず直る』と彼に告げなさい。しかし、主は私に、彼が必ず死ぬことも示された。」

11 神の人は、彼が恥じるほど、じっと彼を見つめ、そして泣き出したので、

12 ハザエルは尋ねた。「あなたさまは、なぜ泣くのですか。」

エリシャは答えた。「私は、あなたがイスラエルの人々に害を加えようとしていることを知っているからだ。…」

13 ハザエルは言った。「しもべは犬にすぎないのに、どうして、そんなだいそれたことができましょう。」しかし、エリシャは言った。「主は私に、あなたがアラムの王になると、示されたのだ。」

14 彼はエリシャのもとを去り、自分の主君のところに帰った。王が彼に、「エリシャはあなたに何と言ったか」と尋ねると、彼は、「あなたは必ず直る、と彼は言いました」と答えた。

15 しかし、翌日、ハザエルは毛布を取って、それを水に浸し、王の顔にかぶせたので、王は死んだ。こうして、ハザエルは彼に代わって王となった。

3 平和を求めよう

→誰もが平和を望むが、
豊かさでは 平和は達成できない。

平和はキリストによる。

その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、御子のために和解させてくださったからです。地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させてくださったのです。（コロサイ1:20）

キリストを信頼するなら、
心に平安があるので、
与えられているもので満足できる。

金銭を愛する生活をしてはいけません。
いま持っているもので満足しなさい。主
ご自身がこう言われるのです。「わたし
は決してあなたを離れず、また、あなた
を捨てない。」（ヘブル 13:5）

こう祈ろう

貧しさも富も私に与えず、ただ、私に定められた分の食物で私を養ってください。

私が食べ飽きて、あなたを否み、

「主とはだれだ」と言わないために。

また、私が貧しくて、盗みをし、

私の神の御名を汚すことのないために。

箴言 30:8-9